

- 教育目標**
- ◎すすんでやる子
 - かんがえる子
 - おもいやる子
 - がんばる子

学校経営方針

一人一人の目標達成が
学校の教育目標の達成につながります

学校経営計画

学年・学級、専科経営

学校評価

アンケート等

平成29年度 グランドデザイン

平成29年度教育課程(届)

教員の授業力向上

具体的方策(例)

学 力 向 上 A	<ul style="list-style-type: none"> ・全学級で週2回の朝学習に「ぐんぐんタイム」を設定し、算数科と国語科におけるドリル学習と検定に取り組む。 ・授業でのねらいを明確にし、児童が何ができるようになったかを自己評価できるようにする。
健 全 育 成 B	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の生活実態調査と学校生活アンケート、いじめ調査(記名式2回・無記名式1回)をもとに、個々の実態や学級の傾向を把握し、指導改善を図る。 ・富士見っ子のきまりや「富士見ぐさ」を中心に、集団生活におけるルールや役割について、共通理解のもと指導を行い、自己評価する
健 康 ・ 体 力 づ く C	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見わくわくタイムを年間14回設定し、児童が運動することが楽しい、もっとやりたいという気持ちにさせる。 ・しゃきピカカードを用いて、生活習慣を意識させたり、振り返らせる。 ・東村山市アグロインフュージョン2020を活用し、体育の授業を通してどの児童も運動することに興味・関心を持ち、体力の向上を図れるようにする。
保 護 者 ・ 地 域 と の 連 携 D	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習を全ての児童におこなわせるために、どのクラスでも工夫させ、保護者アンケートで達成率を調査する。 ・土曜子ども講座や地域行事について保護者や児童に周知し、児童を積極的に参加させる。
特 色 あ る 教 育 活 動 E	<ul style="list-style-type: none"> ・全校及び各学年で保護者や地域人材等のゲストティーチャーを計画的に活用し、様々な生き方にふれさせる。 ・学校図書を積極的に利用させ、読書カードを活用し、年間通して40冊以上を目標に本を読ませる。

アンケート項目

子どもは、授業やぐんぐんタイムで意欲的に学習に取り組んでいる。
子供は、授業で教わったことを家でしっかり復習している(宿題を含む)。
学校は、いじめ、不登校、不適應等の予防、早期発見、対応を適切に行っている。
学校は、子供が安心・安全に学校生活を送れるよう取り組んでいる。
学校は、授業や休み時間の取組を通して子供に運動を親しませている。
学校は、子供が自分の健康に関心を持ち、基本的な生活習慣や食習慣が定着できるよう取り組んでいる。
学校は、保護者や地域に積極的に情報を発信している。
子供は、地域行事や土曜子ども講座に積極的に参加している。
学校は、地域の人材を活用して子供の体験的な活動の充実を図っている。
学校は、朝読書や読書カードなどを活用し、読書に親しむ取組を積極的に進めている。

学校経営方針具現化の方向性

★確かな学力の定着 a

- ・基礎的・基本的学習内容の定着
- ・個の学びと集団の学びのバランス
- ・「思考」を促す雰囲気や学級
- ・「分からない」をそのままにしない
- ・家庭学習の習慣化

★豊かな心の育成 b

- ・命と心の教育の推進
- ・「ならぬことはならぬ」の徹底
- ・いじめ「見逃しゼロ」の学校
- ・危険予測回避能力を育む安全教育
- ・自然に対する感性を育む環境教育

★健やかな体の育成 c

- ・運動の日常化
- ・運動したくなる環境づくり
- ・体育科の学習のデザイン化
- ・食育、保健指導・保健学習の工夫
- ・望ましい生活習慣の定着化

◎教員の授業力向上 f

- ・「教える授業」から「学ばせる授業」へ
- ・日常からの授業改善と校内研究
- ・学習環境の有効活用
- ・授業公開とOJT推進

◎職員の組織力の向上 g

- ・校長の経営方針の具現化
- ・組織としての統一性
- ・教育公務員としてのサービスの厳正
- ・保護者・地域との良好な関係づくり

学校(、学級)の教育目標を達成するための基本方針

教職員が生き生きと力を発揮し、児童に夢や希望をもたせることができる教育活動を展開

ア 魅力あふれる授業づくり

- ・問題解決型・探求型の授業、協同学習の導入、指導と評価の一体化を視点とした授業改善
- ・問題解決型・探求型の授業の取組及び授業改善

イ 確かな学力の定着

- ・全教科を通じた言語活動の充実
- ・読書に親しむ環境や機会の充実
- ・教師一人一人の特性を生かした指導
- ・読書に親しむ環境や機会の充実

ウ 豊かな心の育成

- ・「いのちとこころの教育」の推進
- ・基本的な生活習慣及び規範意識の確立
- ・児童一人一人の自尊感情や自己肯定感をあげる
- ・社会の一員としての意識と心の育成

エ 健やかな体の育成

- ・体育授業のデザイン化による体育学習の充実
- ・オリパラ教育を教育活動全般で推進する
- ・安全教育の充実を通して自らを守る意識の向上
- ・体や手指を十分に動かすことによる機能の発達促進
- ・体育授業のデザイン化による体育学習の充実

オ 特別支援教育の充実

- ・個々の困り感や願いに配慮した支援・指導の展開
- ・特別支援教育の視点に立った授業づくり、学級づくり
- ・児童の障害の状態や特性の違い、発達段階を十分に考慮した上での指導方法の工夫、改善
- ・学校全体の年間計画に位置付けた交流及び共同学習の推進
- ・教職員や保護者への啓発

- 1 「教える授業」から「学ばせる学習」へ
 - ・子どもが、自ら学ぶことができる、そんな授業を構築しましょう。
 - ・子どもへの指導は、「教えること」と「学び取らせること」があります。

- 2 日常からの授業改善と校内研究
 - ・日常の授業の一工夫の積み重ねが教師の指導力向上には、もっともよいです。
 - ・全員が「自主的研究授業」を実施し、じっくりと1つの教材と向き合ってみましょう。

- 3 学習環境の有効活用
 - ・教室、廊下の掲示物は、壁面を埋める飾りではありません。

- 4 授業公開とOJT推進
 - ・互いの授業を見せ合うことで、ちょっとしたコツをつかめることもあります。
 - ・準備をして臨んだ授業が、必ずしも「いい授業」とはなりません。準備をしないこ

- 5 本時の「ねらい」を全時間提示
 - ・45分で、何を身に付けるのか子どもにゴールが分かるようにしまし

- 6 学習規律の明示
 - ・学級内のルールを明確に示し、子どもにそのルールを守らせましょ
 - ・専科の

- 7 どの子どもも同じ善悪基準
 - ・ほめるときは、しっかりとほめ、叱るときは、しっかりと叱りましょ
 - ・「いけないことは、いけないのです。」を徹底しましょう。
 - ・見て見ぬふりは、いい結果を生みません。
 - ・一時的な感情で怒らない。一呼吸おいて叱る。

- 8 自力解決できる環境整備
 - ・児童が自力で課題にとりくめるよう、環境(資料、掲示、仲間など)を整えましょ